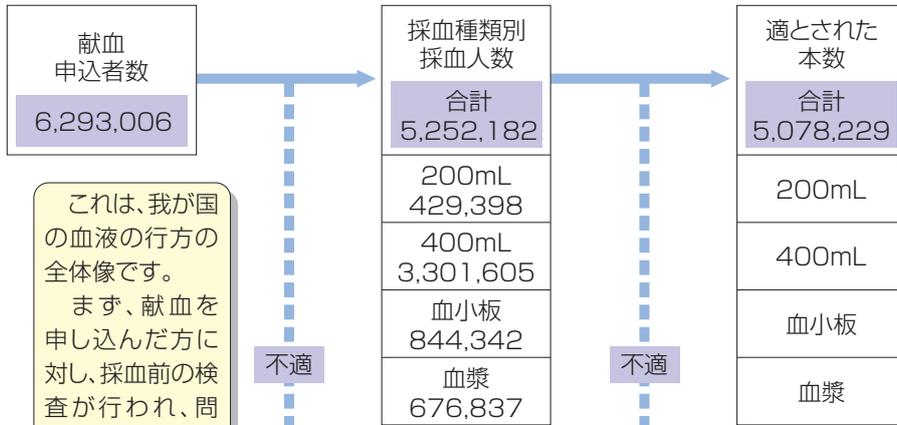


我が国における血液



これは、我が国の血液の行方の全体像です。まず、献血を申し込んだ方に対し、採血前の検査が行われ、問診により健康状態が確認されます。

不適

不適

	不適人数
採血基準	504,693
問診①	24,407
問診②	156,023
その他	355,701
合計	1,040,824

※問診①②については23ページ参照

不適人数	内 訳	
169,195	一次検査	核酸増幅検査(NAT)
梅毒	6,043	
HBV	13,423	82
HCV	2,031	3
HIV	3,845	3
HTLV-1	3,534	
B19	2,833	
不規則	6,549	
肝機能	134,059	
その他	7,853	
延人数	180,170	88

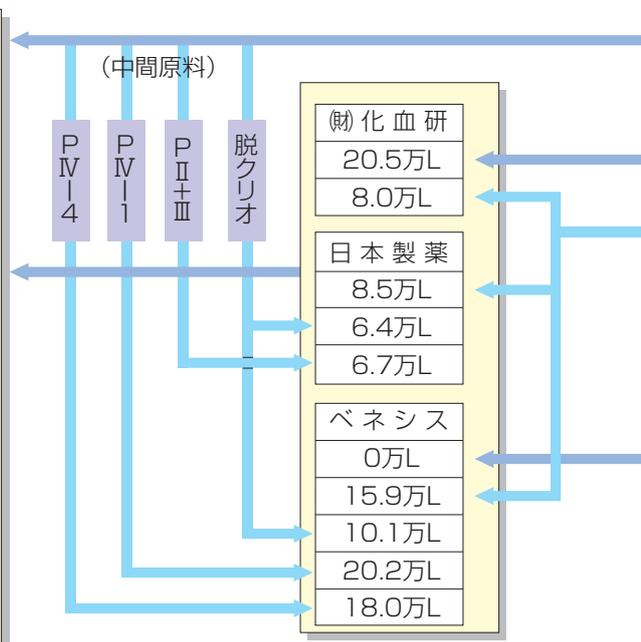
採血前検査を通った方から採血された血液は、感染症や抗体について検査されます。ここで不適とされたものは、以後の製造には用いられません。

検査で適とされた血液は、輸血用血液製剤や原料血漿に調製されます。輸血用血液製剤は、日本赤十字社から医療機関に供給されます。

- 輸入製剤・血漿
 - ・アルブミン製剤
 - ・組織接着剤
 - ・インヒビター製剤
 - ・第Ⅷ因子製剤
 - ・免疫グロブリン製剤
 - ・C1-インアクチベータ
 - ・抗破傷風IG製剤
 - ・血漿
- 遺伝子組換え
 - ・アルブミン製剤
 - ・インヒビター製剤
 - ・第Ⅷ因子製剤
 - ・第Ⅸ因子製剤

血漿分画製剤(23年度自給率)

○アルブミン製剤	58.5%(血漿)
○第Ⅸ因子製剤	100%(血漿)
○フィブリノゲン製剤	56.7%(組換含)
トロンビン製剤	}	100%
活性化プロテインC		
人ハプトグロビン		
ATⅢ製剤		
○組織接着剤	47.4%
○第Ⅷ因子製剤	100%(血漿)
○インヒビター製剤	19.0%(組換含)
第Ⅷ因子製剤	}	0%
抗D(Rho)IG製剤		
抗破傷風IG製剤		
C1-インアクチベータ		
○免疫グロブリン製剤	95.3%
○抗HBsIG製剤	2.0%



の行方（平成23年版）

